



成人者代表として決意と希望を語る岸本佑太郎さん（右。和田山町秋葉台）。

躍進誓い、新成人集う

市は1月13日、ジュピターホールで成人式を開催しました。今年新たに成人を迎えたのは、昭和62年4月から63年3月にかけて生まれた4百40人。式には3百40人が出席し、久しぶりの友人との再会を喜び、互いの近況を話し合う姿が見られました。式では、市長が「自分の目標に向かって忍耐と勇気と気力を持って突き進んでください」と式辞を延べました。式後に行われた成人のつどいでは、新成人の制作した映像作品が上映されたほか、アトラクションのステージでは会場から大きな笑いが起きていました。

交流の輪、広がる

韓国慶州市の柳林^{ナリン}初等学校の児童37人と引率5人の合計42人の訪問団が1月15日から18日まで市に来訪。山東町内でホームステイをしたり生野銀山跡などを訪ねたりしました。この交流は山東町国際文化交流協会が中心となっており、今年度から始めたもので、10月25日から28日には町内の5・6年生21人が慶州市を訪れています。16日には同訪問団が町内の3小学校に分かれて訪問。梁瀬小学校では、柳林校児童19人が歌



「福笑い」を楽しむ柳林初等学校（左端）と梁瀬小の児童。言葉は通じなくても一緒に楽しく過ごしました。

や合奏で歓迎を受けた後、もちつきやけん玉などの正月遊びを楽しみ、交流を深めました。



福くじを引くひまわり保育園児。何が当たるかな？

今年一年の福を願って

和田山上町の二宮神社で、1月10日、「十日えびす」が行われました。同神社には西宮神社の分院があり、百年以上続くとされている十日えびすは「和田山のえびっさん」の名前で親しまれています。当日は、夜明け前からたくさんのお参拝客が訪れ、それぞれ商売繁盛や家内安全を願いました。また、境内では「熊手」や「福笹」などの縁起物の吉兆を買い求める人や「今年初めての運試し」と福くじを引く人の姿が多く見られ、この日は4千人の人数でにぎわいました。

市内中学ソフトテニスのレベルの高さを証明

第24回近畿中学生ソフトテニス選抜インドア大会に県代表として出場した和田山中学校（男子代表と生野中学校（女子代表）の選手15人が1月4日、桐山教育長に出場報告を行いました。12月22日と23日の両日に滋賀県長浜市で行われた同大会には6府県の男女各4チームが参加団体戦では、両チームは但馬勢として初めて男女そろって決勝戦に進出し、準優勝に輝きました。



団体戦で準優勝した生野中（前列）と和田山中（後列）の生徒。個人戦でも上位の成績を納めました。